

できること もちよりで行こう!

[草の根ささえあいプロジェクト]

連載
Vol.7

できないことをもちよれる場所

「できることもちよりで行こう!」は、問題や困り事を抱えた方によりそい、<できること>をみんなで<もちより>、ささえあっている!というメッセージです。「1人ができることを、10人でもちよればどうなる?それが100人になったら、一体何が起きる?」そんなことを、連載を通してみなさんと考えることができたうれしいです。

一般社団法人 草の根ささえあい プロジェクト

〒453-0041
名古屋市中村区本陣通5-6-1
地域資源長屋なかむら
TEL/FAX: 052-462-1281
E-mail: kp.grassroots@gmail.com
HP: <http://grassroots.jimdo.com/>

執筆者：
一般社団法人 草の根ささえあい
プロジェクト 石黒 好美

はじめまして。草の根ささえあいプロジェクトの石黒と申します。今回は、これまでの連載とは趣向を変えて、どうして私たちが「草の根ささえあいプロジェクト」(以下、「草P」)の活動を続けているのか?ということを考えてみたいと思います。

私が初めて「草P」の前身となる勉強会に参加したのは2011年4月。当時は毎日終電まで働くことも珍しくなく、仕事に追われ、常に最新の知識を取り入れなければというプレッシャーもありました。しかし、どれだけやっても失敗ばかり。優秀な人のスピードについていけず、仕事ができないことに失望する日々でした。納期が守れないのは能力がないから、打合せが上手くいかないのは知識がないから、と自分を責めていました。

しかし「草P」では、どうも勝手が違うのです。初めて来た私の意見も、前からの常連の方の意見も同じように大切にされました。流暢にお話される方の話にも、自分の考えを言葉にすることに時間がかかる方の話にも、同じように温かく耳が傾けられていました。むしろ「初めての人」や「上手く話せない人」から、より何かを学ぼうという雰囲気すら感じられました。

「『制度』や『支援』という『光』に照らされず、孤立している人は誰か?」という問いが、当時の勉強会のテーマでした。しかし勉強会の最後には「制度がその人を照らしていないのではない。むしろ、彼女ら彼らこそが『今の社会に欠けているところ』を照らして、私たちに気づかせてくれるのだ」と話したことを覚えています。

私たちが勉強会から発展して、様々な事業を任せていただけるようになった今でも、この雰

気は大切にされています。「草P」のメンバーのほとんどは別の仕事を持っているため、活動に割ける時間は限られています。「福祉」の専門職ではなく、対人支援に関する知識をあまり持たないメンバーもいます。お金もそんなにありません。生活に困り事を抱えている方々を目の前にして、「私たちではできない」、「分かってはいるけれど、仕方がないよね」と諦めてしまいうようなことばかりです。

「草P」の良いところは、誰かが苦手なこと・できないことがあれば、それが得意な・できる人の活躍の場にできないか?と考えることです。私の「できないこと」は、他の誰かの「活躍できる場所」。「草P」では、いろいろな仕事を細かく分けて、それぞれができること・得意なことを受け持って活動しています。それは逆に言えば、一人ひとりが安心して「できないこと」を持ち寄ることで、誰かの活躍の場や助け合いの場を創っているのだと思います。

「電話相談」「子ども・若者総合相談センター」「でこぼこ」「猫の手バンク」など、「草P」の事業では、私たちだけではとても立ち向かえないような大きな壁にぶつかります。それでも、たくさんの「できないこと」を、「草P」や他の支援団体の皆さん、何よりも困り事を抱えたご本人の「できること」と組み合わせ、少しずつでもみんなで認め合い、安心して暮らせる場所を創っていきたいと思います。

インフォメーション

「帰ってきた!
できることもちよりワークショップ」
参加者募集!

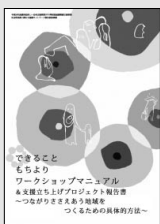
重複した困りごとに対して、多様な支援者が「できること」を持ち寄り、解決を図るワークショップが帰ってきた!出会う、知り合う、つながるうねりが更にパワーアップします。今回は「時間軸」を取り入れた未来志向のワークを新たに加えます。

■日時:11月30日(土)14:00~18:00

■会場:吹上ホール第7会議室

■参加費:1,000円

■お申込み・お問い合わせ:
[http://kokucheese.com/
event/index/116847/](http://kokucheese.com/event/index/116847/)



「できることもちよりワークショップマニュアル&支援立ち上げプロジェクト報告書」

今、機能と機能、専門と専門をつなぐ「新たな知恵と手法」が求められている——そんな想いで、“「できることもちより支援」を目指して「つながり」を生み出すための手法”をパッケージ化したマニュアルです。ワークショップの開催をお考えの方は、お問合せ下さい。

